

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/プレイヤーコース											
音楽基礎B4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田中綾美			実務 経験	有	職種	キーボーディスト				
担当教員紹介											
<p>メジャーレーベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。</p>											
授業概要											
<p>音楽理論の基礎をしっかりと身につける。記号の書き方、音符の長さなどの基本から、スケール、音程までは最低でもしっかりと理解し、楽譜をきっちり読めるようにする。また、自身の曲を書く学生は、自身の曲の譜面を書けるようにする。</p>											
到達目標											
<p>様々な基本用語を覚え、実際の実習で活かせるようにする。また、様々な手法を駆使して、自身のオリジナル楽曲にいかせるようにする。既存曲も自身で楽曲分析を出来るようにする。</p>											
授業方法											
<p>なるだけ少人数制のグループで丁寧に授業を進めていく。授業開始にはならず復習の小テストを行い、何度も繰り返す事によって、徹底して理解させる。理論の理解を深め定着させていく。</p>											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
<p>理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこなない、とりこぼしのないように進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	セカンダリーの使用方法を楽曲分析にて理解させる										
第2回	実際の学生の曲にセカンダリーを入れてみる										
第3回	在る場合とない場合との違いを考察しながら、入れるポイントを理解する(2-5進行等)										
第4回	クリシェおよびその使用方法を分析にて理解させる										
第5回	既存曲を用いてカノン進行を理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/プレイヤーコース	
音楽基礎B4	
第6回	J-POPに良く用いられるいくつかのコードパターンを実際に使ってみる
第7回	モードについての理解、その使用方法等について理解する
第8回	後期試験を見据えた中間テストで理解を含める
第9回	様々なコードパターンを含む学校をアナライズする
第10回	学生から公募した楽曲をアナライズする
第11回	アポイドを用いたいくつかの例を挙げてその解説を行う
第12回	8小節のケーデンス内でセカンダリーを用いた作曲をする
第13回	8小節のケーデンス内でクリシェ、カノン進行を用いた作曲をする
第14回	作曲したものを授業内で発表する
第15回	後期テスト